

平成30年度奥州市水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位：円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益	19,158,524
減価償却費	1,262,636,000
固定資産除却費	27,791,000
繰延勘定償却	4,992,646
引当金の増減額（△は減少）	1,451,727
長期前受金戻入額	△ 268,258,000
4条特定収入消費税費用化額に対応する長期前受金収益化額	△ 11,658,592
受取利息及び受取配当金	△ 1,079,000
支払利息及び企業債取扱諸費	290,615,000
業務活動による未収金の増減額（△は増加）	△ 42,514,945
業務活動による未払金の増減額（△は減少）	7,748,986
たな卸資産の増減額（△は増加）	△ 9,123,963
その他流動資産の増減額（△は増加）	0
その他流動負債の増減額（△は減少）	<u>6,158,000</u>
小計	1,287,917,383
利息及び配当金の受取額	1,079,000
利息の支払額	<u>△ 290,615,000</u>
業務活動によるキャッシュ・フロー	998,381,383

2 投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産の取得による支出	△ 1,673,411,377
固定資産の売却による収入	2,000
国庫補助金等による収入	157,391,000
投資活動による未収金の増減額（△は増加）	△ 29,596,000
投資活動による未払金の増減額（△は減少）	<u>100,022,740</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,445,591,637

3 財務活動によるキャッシュ・フロー

一時借入れによる収入	220,000,000
一時借入金の返済による支出	△ 220,000,000
建設改良等企業債による収入	850,600,000
建設改良等企業債の償還による支出	△ 974,187,000
一般会計からの出資による収入	<u>444,529,000</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	320,942,000

資金増加額（又は減少額）	△ 126,268,254
資金期首残高	<u>2,004,781,031</u>
資金期末残高	<u><u>1,878,512,777</u></u>

※資金期首残高には、統合する前沢区内簡易水道事業分の資金残高19,826,724円を含む。